



さくら咲く

～受け継がれる思い～

しかし近年は市内各地で老木化や腐朽、病
気などで傷んでいる桜が目につくようにな
り、以前に比べて花の美しさや勢いが減って
きているとささやかれるようになりました。
そうした中、市は昨年「癒やしの里づくり」
構想を発表。その一つの柱となる「日本一の
桜の里づくり」を掲げ、住民参加型のまちお
こしプロジェクトをスタートしました。市の
呼びかけに賛同する市民が続々と集まり、官
民一体となったプロジェクトが今、動き始め
ています。

桜 の里と言えば菊池。昔からそう呼ば
れるほど、菊池市は桜の名所として
名をさせてきました。市の木が桜となってい
るように、たくさんの方に見守られながら時
代を歩んできました。
桜の名所として名高い菊池公園には現在、
22種類の桜の木が約3千本あり、春の行楽
シーズンになると全国から訪れる大勢の花見
客を迎え入れています。その華やかさは「菊
池公園一萬本の桜」とうたわれ、昔から人々
の心をつかんできました。



広報きくちが2年連続グランプリ 第57回熊本県広報コンクール

第57回熊本県広報コンクールの最終審査が1月
16日、熊日本社で行われ、広報きくちが2年連続
でグランプリ（熊日賞）を受賞しました。組み写真
の部では特選、一枚写真の部でも佳作を獲得。3部
門全て入賞を果たしました。本市の広報紙での入賞
は4年連続、写真の2部門での入賞は3年連続とな
ります。

多くの市民の皆さんのご協力により今回の結果に
つながりました。今後も役立つ情報と元気を発信し
続けていきますので、皆さんと共に進化する「広報
きくち」をどうぞよろしくお願いします。



今回特選となった広報紙と組み写真は、5月に行われる全国広
報コンクールに出品されます

1月末の人の動き

人口	対前月比
人 口：50,739人	－56
男 性：24,406人	－30
女 性：26,333人	－26
世 帯：18,405世帯	－6

年齢別人口

0歳～14歳：	6,660人	13%
15歳～64歳：	29,417人	58%
65歳以上：	14,662人	29%

今月の表紙

桜が満開の時期を迎えにぎ
わう菊池公園。古くから桜
の名所として人々に親しま
れてきました。日本一の桜
の里づくりを進める本市で
は4月3日(休)・4日(金)の二
日間、第33回全国さくら
シンポジウムが開催されま
す。今春も全国から訪れる
たくさんの方見客でにぎわ
いそうです。
(関連記事3ページ)



Contents ～今月号の掲載項目～

3 特集

さくら咲く

～受け継がれる思い～

14 市職員の給与 定員管理などを公表します

16 TOPICS（まちの話題）

泗水小剣道部が2つの県大会を制覇／川口研五さんに県警本部長
から感謝状／第42回旭志元旦マラソン大会／パラリンピック金メ
ダリスト浦田理恵さん講演会／ふるさと自慢うた自慢公開収録／
まちを繕うワークショップ／森の中のまちプロジェクトキックオ
フコンサート／消防署に高規格救急車を寄贈／第38回七城一周駅
伝大会／第38回旭志一周駅伝大会（一般の部）第48回くらだけ
友の会旭志一周駅伝大会（子ども会の部）／第40回泗水町内一周
駅伝大会 ほか

23 春婚

25 国民年金情報 はい！こちら菊池市消費生活センターです

26 健康だより データdeチェック！ 市民の皆さんの健康状態 献血にご協力ください／歯ッピーキッズ

28 文芸きくち 図書だより

30 シリーズ菊池遺産／人権同和教育シリーズ 菊池夢美術館情報／わいふ一番館だより ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム こんにちは金です

32 情報つう
▼お知らせ
身体障害者手帳の認定基準が変わります／菊池市議会議員一般選
挙／菊池市海外研修生の会国際交流事業は休止します／介護予防
ミニ講座／第2回くらしのお悩み解決すっ隊／菊池市国民健康保
険証（マル学）をお持ちの人へ／お花見時期の菊池公園は車両進
入禁止です／浄化槽設置希望者は早めの申請をお願いします／4
月から水道料金・下水道使用料などを改定します／熊本～ソウル
線お得なキャンペーン中です／防犯の窓
▼募集
市民講座「笑顔がもたらすもの」受講者募集／第26回熊本県シル
バースポーツ交流大会参加者募集／第13回くまもと障がい者ス
ポーツ大会／菊池市の放射線量／青年国際交流事業に参加しま
せんか／弓道教室を開催します／肥後古代の森 菊池フットパス～
泗水の史跡を巡って～
▼相談・講演講習
認知症介護家族のつどい／もの忘れ相談会／納税相談夜間窓口を
開設します／公共工事入札の公表／認知症サポーター養成講座
▼イベント・市民の広場ほか
春の収穫祭2014／熊本県装飾古墳春の一斉公開開催／第34回
きくち音楽まつり／第59回熊本県菊池桜マラソン大会／第9回老
人クラブ芸能大会／健康づくりウォーキング大会「泗水フットパ
ス」／すくすく講座／菊池市少年少女合唱団スプリングコンサ
ート2014／市民の広場／ハッピーバースデー／休日在宅当番医

合志川流域緑と水、命を守る会
春田勝子 会長



市民の皆さんが桜の里づくりに少しずつでも心を傾けていることをうれしく思います。これをきっかけに環境問題への関心も高まってくれたら良いですね。

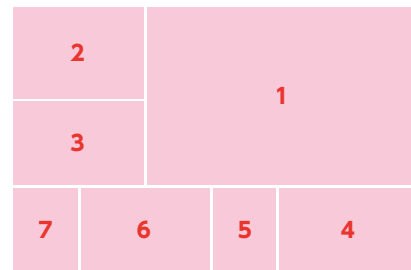
守る会は桜の里づくりにいち早く賛同し、県緑化推進事業で42本の桜の木を植樹。式典では長年の功績を讃えて江頭市長から感謝状が贈られました。



9



8



1. 記念植樹でプロジェクトの推進を誓いました 2.4. 女性グループによる踊りの披露 3. 会場には大勢の人が集まった 5. だご汁やおにぎりが振る舞われました 6. 集いに参加した小野由布子さん^{おののふゆこ}と吉永夢絆さん^{よしながゆな}は桜が大好きな小学生 7. 願い事を書いた桜の貼り絵 8.9. 作文を発表した小野さんと安武くん

植樹の集いを開催

委員会の設立と地元市民団体「合志川流域緑と水、命を守る会」の発足20周年を記念した「第1回合同植樹の集い」が2月11日、菊池市泗水浄化センターで開催されました。式典には関係者や市民など約200人が出席。敷地内に桜を植樹し、「日本一の桜の里づくり」の推進を誓いました。

「未来のためにきれいな環境を守っていくことの大切さを学びました。自分にできることを日頃から続けていきたいです」と述べました。

式典後、女性グループの皆さんが桜の花飾りを手に踊り始めると、会場は一気に春一色に様変わり。一足早い春の訪れを祝うかのように、人々の表情は笑顔であふれていました。

会場には桜の木を描いた墨絵が飾っており、花をかたどった紙に夢や願い事などを書いて貼り付けていくと、参加者全員の思いが詰まった満開の桜の貼り絵が完成しました。



Sakura millennium project photo collection

Interview



Yasumasa Furuta
菊池さくら千年プロジェクト実行委員会
ふるた やすまさ 会長

根気強く一步一步、桜の里で地域を一つに

今回の植樹の集いは、江頭市長が掲げる癒やしの里づくりの第一の矢が放たれた記念すべき日です。委員会はその目的を達成するために、市内の各種団体が思いを一つにして設立しました。運営はボランティアで行っていきます。

菊池さくら千年プロジェクトには、千年先まで桜を残していきたいという願いと、根気強く一步一步取り組んでいくという思いが込められています。

日本一の桜の里づくりは、市民の皆さんが桜の下に集い、語らい、楽しみ、地域の活性化につなげていくことが第1の目標です。第2に、桜を郷土の遺産として市民の郷土愛を醸成し、観光や経済の活

性化につなげるという目的も持っています。5年～10年で成果を出せるようにしたいですね。そうすれば桜の里づくりに対する市民の理解がさらに加速するのではないのでしょうか。

桜の里づくりには長い年月が必要です。まちづくりに熱意を持っている人が集まり、その熱意を絶やさぬよう後継者を育てていくことも大切だと感じています。私自身、気持ちを切らさずに続けて行きたいと思います。

昔から桜は日本人の癒やしのよりどころでした。地域社会の衰退が進む今こそ、桜の里づくりをとおして住民同士の交流が進み、地域が一つになればうれしいですね。

日本一の桜の里づくりを推進する「菊池さくら千年プロジェクト実行委員会」が1月17日、発足しました。委員会には市や区長会のほか、地域づくり団体、造園業組合などさまざまな団体が参加。「市民の、市民による、市民のための日本一の桜の里づくり」を理念に市民を主体とした活動を進めていきます。

主な活動内容は、河川堤防や道路沿いへの桜の植樹と管理。今後年数をかけて植樹の本数を増やしていきます。既存の桜も活用しながら景観の保全と改善を行います。桜の里として観光

「海まで続く桜並木」の実現に向け、市は河川流域の自治体にも桜の里づくりを呼びかけています。現在のところ近隣自治体も前向きな姿勢を示しており、市内にとどまらない広域の桜プロジェクトが現実味を帯びてきました。

この動きに国も関心を示しています。河川マップを提供したり植樹できそうな場所をアドバイスしたりと、地方自治体のまちづくりを積極的に後押ししています。

市民の、市民による、市民のための桜の里づくり

海まで続く桜並木

資源の価値を高め、地域と経済の活性化を図っていきます。

日本一の桜の里を実現したい——。国、地方自治体、民間の枠を超え、官民一体の桜プロジェクトがスタートしました。

菊池さくら
千年プロジェクト
始動

樹木医に聞く！

身近にあるのに意外と知らない桜のこと。
木の専門家、樹木医の今村さんに話を聞きました。



桜 の中でも一番有名なソメイヨシノは江戸時代後期に生まれた桜で、比較的新しい品種です。寿命は約60年といわれますが、しっかり手入れをすれば100年以上長生きします。

桜の品種は500以上あるといわれていますが、花の色は基本5色です。ギョイコウやウコンのように黄や緑に近い色の花を咲かせるものもあります。

桜の手入れは難しそうな印象がありますが、アブラムシ対策や肥料やりなどは誰でも簡単にできます。アブラムシ対策は暖かくなる前にやるのがポイントです。専用のスプレーや粒剤を使いましょう。肥料は「お礼肥」といって花や実が終わった後にやると効果的です。

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」といわれるように桜は切つてはいけないと思われがちですが、切った後に適切な処置を施せば大丈夫です。手入れをしない桜

は一つの蕾から二つ三つ程度しか咲きませんが、手入れをすれば七つくらい咲くようになります。見た目もより美しくなります。

昨年、花房展望所の桜並木を剪定しましたが、腐りが激しくいつ倒れるか分からないほど危険な状態でした。枝を短く切つたのは良い枝を出すためですが、景観を良くするためでもあります。数年は見劣りするかもしれませんが、いずれ元氣になって皆さんの目を楽しませてくれるでしょう。適切に管理していくことで観光資産としての価値を高めることはもちろん、将来的には木の負担が減り、管理に必要な予算や人手も減らすことにつながります。

菊池公園の桜の手入れも進んでいます。ちゃんと整備すれば将来、県内一の桜の名所にできると思っています。いずれは全国の人から「菊池公園の桜は一見の価値あり」と言われるくらいにしていきたいですね。

Special Interview



Profile いまむら・たかこ
昭和57年8月5日生まれ。木柑子出身。(有)生垣屋勤務。樹木医。1級造園施工管理技士。造園工事や樹木治療で県内を駆け回る傍ら、小学校の授業や講演会で桜の魅力を伝える活動も行っている。4月3日～4日に本市で開催される全国桜シンポジウムにも出演予定。

樹木医 **今村能子** さん
Takako Imamura



将来の景観も見据えて剪定された花房展望所の桜並木



小学校では桜の生態だけでなく歴史や文化なども伝えています

同窓会を代表して植樹に立ち会った岡本さん→



命名権付きの桜にはネームプレートを設置



基金で菊池公園内に植樹された桜



病気や虫害を防ぐために肥料と薬剤を埋設



広がる植樹の輪

地域の桜を自分たちで守り育てる。その取り組みの一つが「菊池さくら基金」です。基金が始まって2年、植樹の輪は着実に広がっています。

菊池さくら基金で

桜のオーナーに

「高校の同窓会で50歳を記念して植樹しました」

岡本さんは桜の前で誇らしげに語ります。岡本さんたち同窓会は「菊池さくら基金」の命名権付き寄付金を利用して桜のオーナーになりました。「自分たちの桜なんだと愛着が持てます。次の同窓会では満開になった桜の下に集まりたいですね」

命名権付き寄付金で植樹された桜の本数は延べ33本。子どもや孫の誕生祝い、思い出づくりがたくさん込められています。菊池さくら基金運営委員会の事務局を務める菊池観光協会の岩永さんは「オーナーの皆さんは

思い入れがある分、愛着もひとしおです。開花シーズンになると自分の桜を見に来られます。最近は植樹された桜を見た人からの問い合わせも増えてきました」と手応えを感じています。

桜の里づくりをサポート「さくらサポーター」

さくら基金は市民主体が基本理念。植樹後の維持管理、清掃などもボランティア会員「さくらサポーター」が行っています。現在の会員登録数は個人・団体合わせて151会員。桜の里づくりに欠かせない力になっています。寄付金とさくらサポーターは随時募集中。問い合わせ・申し込みは菊池観光協会まで。

☎0968(25)0513

◆菊池さくら基金 Kikuchi Sakura Fund

市内各地の桜の名所を市民憩いの場、観光資源と位置付け、保護・育成していくことを目的に平成24年に設立。市内各種団体が構成する菊池さくら基金運営委員会が寄付金やボランティア会員「さくらサポーター」を募り、桜の購入、植樹、関連イベントなどを実施しています。

◆寄付金の種類

- ①一般寄付金
- ②命名権付き寄付金
名札付き植樹 1口3万円
- ③協賛自動販売機
清涼飲料水販売機の売り上げの一部を寄付

◆さくらサポーター

- 清掃、植樹などのボランティア活動や関連イベントに参加・協力できる人。
- ・個人会員 千円
- ・法人会員 1万円



育友会会長
岡本雄治 さん



菊池観光協会事務局長
岩永悦朗 さん



菊池市造園業組合
村上 勝 さん

菊 池さくら基金があることを知り、これは良い機会だとみんなで植樹することにしました。市外に住んでいる同窓生も花が咲くのを心待ちにしています。

多 くの人から基金にご協力をいただいています。植樹された桜はさくらサポーターの皆さんが草取りや肥料やりなどの管理を行いますのでご安心ください。

植 樹は造園業組合員が行っています。私たちも桜の里づくりに貢献したいと思い観光協会に入会しました。植樹の輪が広がることに喜びを感じています。



袖ふれし
花も昔をわすれずば
わが墨染を
あはれとは見よ

(現代訳)
昔、お会いしましたね。あなた
は覚えていますか。私の僧侶姿
を見て、懐かしんでください。

◆墨染桜（スミゾメザクラ）（寺小野）

菊池一族第14代当主の菊池武士が詠んだ句に出てくる木。大島桜の系統で花色は紅桃色から淡い色。花径は4cmから5cmの大輪で甘い香りがします。1本の木から一重・二重・半八重の花を咲かせる珍しい桜で、鑑賞価値が高い桜として人気があります。

約680年前に寺小野区の大円寺に植樹されたといわれており、現在の木は4～5代目と考えられています。菊池神社、菊池公園、中央通でも見ることができます。

◆桜地図で名所探訪

市内の桜の名所を網羅したパンフレットがあります。菊池公園・菊池神社エリアは桜の位置と品種も掲載。花見シーズンは必携の一冊です。商工観光課・菊池夢美術館にありますのでぜひご利用ください。
問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

⑥迫間橋（東迫間） ①④菊池公園ライトアップ ①⑤正観寺 ①④ヤマザクラ（岩下） ①⑤菊池公園



①⑤⑥七城リバーサイドパーク ①⑤湯舟の堤（旭志） ①④ヤマザクラ（太田） ①⑤菊池市民広場

桜花爛漫

菊池の桜。見どころイロイロ。

①孔子公園



①鞍岳山麓



①泗水緑道



菊池桜講



▲菊池神社にある菊池桜講の記

昭和24年、市民有志23人が菊池神社と菊池公園の桜の愛護・存続を図る目的で設立。毎月50円を積み立てながら神社や公園に毎年、桜の木を植樹していきました。

徐々に賛同の輪が広がり、数年後には100人を超える市民が加入。昭和40年ごろには「菊池公園一万本の桜」と

と呼ばれるほどに観光名所として名をはせていきます。寺小野区にある墨染桜の育苗にも力を入れ、菊池神社の境内などに植樹しました。

昭和45年、菊池公園が市の管理となったことで菊池桜講の目的は達成したものと、約20年にわたるの活動に幕を下ろしました。

つ」といわれていた時代ですから、いかに大金だったのか想像できません。戦後間もないころで生活に余裕もなかったはず。そんなときにこれほどの大金が集まるのはすごいことです。

西岡 世のため人のため、助け合いの精神で取り組んでいたのでしょう。地域のためにも桜を植えていこうと心をつにしていたのではないのでしょうか。桜講ができて1万本植えたときとされていますが、実際それに近い本数は植えていると思います。深い郷土愛があったからこそ成し得たことでしょう。

高宗 昔の写真をみると、昭和33年ごろにはすでにたくさんの方々が満開になっていました。露店もあつたし座するための貸しゴザもあり、たくさんの方が見客でにぎわっていました。

西岡 菊池公園の桜の始まりは、明治3年に下河原の今村七端さんが菊池神社に桜の木500本を寄付したことが原点だといわれています。

高宗 明治3年に植えられたところには80年以上たっているこ

とになります。当時も今と同じように桜の老木化が進んでいたのではないのでしょうか。

西岡 桜を地域の財産として守り続ける仕組みをつくるために、桜講が生まれたのだと思います。

高宗 桜講の設立から60年が過ぎました。現在の菊池さくら基金は、先人から「やれ」と言われているような気がしてなりません。まるで桜講をつくった先人たちの靈魂が、私たちを突き動かしているかのようなのです。

西岡 住民たちが昔このような活動をしていたことを知らない人も多しはず。特に今の若い人々には、菊池の桜に込められた先人たちの思いを感じてもらい、しっかりと受け継いでほしいですね。

高宗 利己ではなく他者のため、そして地域のために活動された結果が菊池の桜だということが分かりました。多くの先人たちがそれぞれの時代でふるさとに思いをはせてきました。今は私たちの時代。その思いをバトンランナーとして次の時代へつなげていきたいと思っています。

「菊池の桜は助け合いの精神と深い郷土愛から生まれた。しっかりと受け継いでほしい」

語り手

御松囃子御能保存会 **西岡史郎** さん

Shiro Nishioka

昔、菊池の桜を守るために立ち上がった人々がいました。先人たちはどんな思いで桜を植え続けたのでしょうか。まちの歴史を振り返りながら、その思いを探ります。



「まるで先人たちの靈魂が私たちを突き動かしているかのようです」

聞き手

菊池さくら基金運営委員会 **高宗政禎** さん

Masayoshi Takamune



菊池さくら基金運営委員会で桜の里づくりに取り組む高宗さん。先人たちがつくった菊池桜講の話から当時の人々の思いに触れてみたいと考え、歴史と文化の伝道師である西岡さんのもとを訪ねました。

高宗 以前、西岡さんから菊池桜講のことを聞き、過去に同じような取り組みがあったことを知りました。設立の経緯や活動内容を教えていただけますか。

西岡 菊池桜講は昭和24年、市民有志が菊池神社と菊池公園の桜を守り後世に残そうと始めた

取り組みです。最初は23人から始まり、徐々に賛同者が増え最終的には100人を超える人が集まりました。私の父も会員の一人でした。

高宗 当時の「講」とはどんなものだったのでしょうか。

西岡 桜を植えるためだけではなく、みなさんでお金を出し合っで生活を支え合うといった意味が強かったと思います。毎月50円ずつ積み立てながら菊池神社や菊池公園に植樹していたようです。

高宗 「100円あれば家が建



毎年春には満開の花を咲かせ、たくさんの人を迎え入れる菊池神社参道。この桜並木の一本一本にも先人たちの思いが込められています。「この美しい桜が見られるのは、人と地域を愛した先人たちのおかげ。しっかり守らんといかん」と、西岡さんの言葉にも力が入ります。菊池の桜は南北朝時代から先人たちの思いと共に後世へと受け継がれてきました。その思いは絶えることなく私たちの心に届けられました。

日本一の桜の里づくりがスタートし、郷土愛を持った多くの市民が夢に向かって歩き始めました。実現には長い年月が必要となるでしょう。でも誰もがふるさと思ふ気持ちをもち続けければ、きっと夢は叶うと信じています。そうして醸成されていく郷土愛はまちの力となり、次の世代を支える礎になっていくのではないのでしょうか。

市内各地で多くの桜の木が植樹されました。ふるさとへの思いがたくさん詰まっています。郷土愛の花が咲く春は、もうすぐそこまで来ています。

受け継がれる思い、それは郷土愛。
過去から現在、そして未来へ。

◆みんなでおもてなしの準備をしませんか？
第5回「城山の日」開催

桜の開花に合わせてボランティアイベントを開催します。菊池公園、市街地一帯の清掃や、桜の添え木の撤去などを行います。たくさんの参加をお待ちしています。

と き 3月21日(金祝) 午前9時～正午ごろ
ところ きくち観光物産館東側
問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

写真協力：もぎゃわん

今

年の桜は特別です。菊池を日本一の桜の里にする夢が実現に向けてスタートしたからです。2月11日の泗水地区を皮切りに、多くの市民の皆さんにより市内各地で桜の植樹が行われました。

これから毎年、寄付やボランティアを募り、官民一体となって川岸や広場に少しずつ桜を増やしていきます。市内を流れる全ての川が、やがて菊池川として一つになるように、私たちの心が桜の花で一つにつながります。菊池川流域の自治体とも連携して、最終的には海までつながる桜並木をつくり上げる構想です。観光資産としてだけでなく、未来の世代への素晴らしい贈りものとなるでしょう。

桜の花は、はかなく散り行きますが、今年の桜はふるさとに誇りと絆を根付かせてくれそうです。4月に全国さくらシンポジウムが菊池市で開催されるのは、天からの贈り物のような気がします。

「明日へとつながる希望の並木道を」

さえします。菊池の桜と真心のおもてなしで、全国の桜ファンをお迎えしましょう。

今、私たちが楽しんでいる自然や桜並木は、私たちの先人が顔も知らない後世のために残してくれたものです。今の世代が次の世代のために、そしてまたその次へと、少しでも良いものを残そうと努力するならば、必ず菊池市はより素晴らしい場所になるはずです。

その思いを桜の花に託し、市民一体となって力を合わせて、明日へとつながる希望の並木道を築いていきましょう。



菊池市長 江頭 実

第33回 全国さくらシンポジウムin菊池

—— さくら・咲かそう 癒しの里 きくち ——

4/3(木) 4(金)



記念講演

と き 4月3日(木) 午後1時40分～

ところ 菊池文化会館

【講師】作家 岩下尚史氏

【課題】桜の信仰と文芸
～咲かそうの国に生まれて～ 菊池市出身

問い合わせ先

◆第33回全国さくらシンポジウム in 菊池

実行委員会（菊池観光協会内）

☎0968(25)0513

◆商工観光課

☎0968(25)7223

■主催：第33回 全国さくらシンポジウム in 菊池実行委員会、公益財団法人日本花の会

■共催：菊池市

■後援：熊本県、熊本県北広域本部、菊池市教育委員会、熊本日日新聞、熊本県民テレビ、テレビ熊本、熊本放送、熊本朝日放送、エフエム熊本、NHK熊本放送局